



瓊浦高等学校  
学校通信  
第 71 号

平成30年7月31日発行  
電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245

# 瓊浦窓の

「誠実に」

指導監 荒木 典子

7月9日の梅雨明け以降、うだるような暑さが続いています。

今月3日は台風7号の接近で臨時休校となりましたが、台風通過後も雨が続き、夏の甲子園予選の開会式が行われた6日には、その後大雨特別警報が発令され、いつ大きな災害が起きても不思議ではないという状況に陥りました。幸い長崎県ではその後雨が弱まり、翌日7日の中学生を対象とした本校学校見学会も無事開催され、学校全体が安堵感に包まれました。とは言え、広島県、岡山県とはじめとする西日本各地は大災害に見舞われ、220名を超える犠牲者を出し、いまだ行方不明となっている方もおられます。また、この炎天下で、ボランティアの助けも借りながら、まさに命懸けで復旧作業が進められています。台風が接近した日、私が住む地区では4時間程度停電し、それだけでも不便さを恨めしく感じてしまいました。どちらかと言うとアナログな生活をしていると思ってはいましたが、実のところ現代人の贅沢な体質にすっかりなってしまうことに改めて気づかされ、猛暑・酷暑の中、懸命に作業を続けている方々にただただ頭を下げるしかありません。

さて、長崎県も長崎市を中心に昭和57年7月23日未曾有の大雨に襲われ、299名の尊い命が失われました。また、昭和32年7月25日には諫早大水害が発生し、何と死者行方不明者の数が500名を超える大災害に見舞われています。大雨のため、親が自宅に戻れず、子供たちだけで自宅の屋根の上で一晩過ごしたとか、濁流に流されながらも、偶然流れてきた木につかまり九死に一生を得たとかいう、命に縁のある方の話を聞くこともあります。中には、部活動の夏の大会で長崎を離れていて、帰ってきたら家族が全て犠牲になっていて、自分一人が残されたという高校生もいました。あの東日本大震災の折も全てを失い、生き抜くことの厳しさを思い知らされた人々が多くいました。

私には忘れられない一枚の写真があります。「家族を捜しています」と書いた瓦礫の板切れを胸に抱いていた、あの小学生は今元気に暮らしているだろうかと災害が起きるたびに思い出します。

天は無情です。真面目に、誠実に生きている人々の命を容赦なく奪っていきます。日常生活の中では実は生かされていることを忘れ、野放図な時間の使い方や横着な生活をしている自分がいます。大災害も時間と空間が異なれば、つい他人事になってしまいます。

様々な人の思いとは関係なく、暑い夏が続きます。大きな災害が起きなければ人の命の大切さに思いを巡らせない人の心の横着さを省みながら、貴重な時間を大切に、充実させて過ごす夏でありたいと思います。

## 海外研修壮行会

7月19日(木)、この夏に海外へ派遣される生徒の壮行会が行われました。今年度は、3名の生徒が海外短期留学にチャレンジします。

23日より釜山での韓国語研修に臨む小原一愛さん(龍普3A)は、「将来、国を跨いで仕事をしたいという夢を叶えるために韓国留学で様々な経験をするのが私にとって考え方や視野を広げる良いチャンスになると考えています。この留学で、自発的に行動し、語学力をあげ、異文化への理解を深める等、海外でしか学べないことを吸収してきます」と意欲的。27日よりシンガポールに短期留学をする村川航海君(龍普3A)は、「担任の先生がいつも言っている、『語学というのはあくまでツール(道具)。実際の能力や魅力というのは、その人の経験や、経験に基づく説得力であること』に気づいて帰ってきます」と語ってくれました。また、鈴木拓海君(龍機2A)がすでにYCEの派遣でシンガポールに留学中です。鈴木君は約1ヶ月の間、海外に自らの身を置き、国際感覚を磨くこととなります。

なお、成果については、今秋に全校生徒に報告する予定です。

## 英検 2級合格 おめでとう!!

7月1日(日)に行われた今年度の第1回実用英語技能検定の2級二次試験に本校から2名の生徒が参加し、井元太三君・長野航大君(ともに龍普3A)が見事合格を勝ち取りました。井元君は長崎大学水産学部、長野君は福岡大学商学部をそれぞれ志望しており、「大学受験に向けていいスタートが切れた(井元君)」、「大学入試の出願要件をクリアできてよかった。次は、大学入試で合格を勝ち取りたい(長野君)」と語ってくれました。

次回の英検は、10月5日(金)に一次試験があります。受検を希望する生徒は本校英語科の詫間先生まで。



## 8月のおもな行事

- 2日(木) 就職校内選考会
- 9日(木) 平和教育(登校日)
- 19日(日) 夏季学習合宿(～22日)
- 22日(水) 小論文模試(2年・3年)
- 24日(金) 始業式(午前中)
- 27日(月) 第2回実力考査(1年・2年) 就職・進学面接講話(3年)
- 28日(火) 体育祭特別時間割(～9月7日)
- 31日(金) PTA委員会・懇親会(セントヒル長崎)



## 9月のおもな行事

- 7日(金) 体育祭準備・予行
- 8日(土) 体育祭
- 9日(日) 体育祭(予備) 全商英語検定
- 10日(月) 振替休日(体育祭)
- 11日(火) マナーアップ週間(～14日)
- 14日(金) 基礎製図検定(機械科)
- 15日(土) サタデーセミナー開始 対外模試(3年・～16日)
- 18日(火) JAXA連携授業
- 22日(土) 県高校生ロボットコンクール
- 23日(日) 全商情報処理検定
- 25日(火) 中間考査時間割発表
- 29日(土) 第3回学校見学会



## 高校野球・インターハイ壮行会

第100回全国高等学校野球選手権記念長崎大会および平成30年度インターハイの壮行会が、7月4日(水)に開かれました。今年のインターハイには、団体でバドミントン男子・卓球男子・空手道男子、個人で卓球女子・陸上競技・ボクシングの各部が出場します。校長先生からは「全国制覇を目指す諸君に出場おめでとう」とは言わない。これまでの練習を信じてがんばってほしい。」との激励の言葉があり、続いて生徒会長の里瑞葉さん(情3A)が激励の言葉を述べました。選手宣誓は野球部主将橋元丈二君(機3B)と空手道部主将中村龍信君(機3D)がおこない、健闘を誓いました。



## 競技大会

- ・ドッチボール部門  
優勝 普通科2年B組  
2位 普通科2年C組  
3位 龍馬コース普通科2年A組
- ・ソフトバレー部門  
優勝 機械科3年B組bチーム  
2位 機械科3年D組cチーム
- ・卓球部門  
優勝 松尾・山下(機3D)  
2位 佐藤・庄司(機2B)  
3位 滝口・井元(龍3A)
- ・オセロ部門  
優勝 中尾祥悟(情3A)  
2位 佐藤友乃(普3C)  
3位 木下知己(機2B)

- ・将棋部門  
優勝 川口颯太(機2B)  
2位 西野海人(機1C)  
3位 石井涼大(機1B)
- ・けん玉部門  
優勝 角本龍太(機3D)  
2位 大浦美蘭(普1A)  
3位 畑幹人(機3C)
- ・アームレスリング部門  
優勝 石原光(機3B)  
2位 松尾孝行(機2C)  
3位 川中智樹(普2D)
- ・コンピュータゲーム部門  
優勝 本多慎之介(普3B)  
2位 山田彩海(普2A)



7月18日、校内競技大会がおこなわれ、8つの部門に分かれて競いました。一人ひとりが自分の得意分野を選び、白熱した戦いが繰り広げられました。

## 【部活動成績】

- バドミントン部男子  
平成30年度全九州高等学校体育大会  
男子学校対抗  
男子ダブルス 杉本 一樹(普2B)・中島 巧(普2B) 第3位 優勝
- 陸上部  
秩父宮賜杯第71回全国高等学校陸上競技選手権大会北九州地区予選大会  
男子1500m 林田 洋翔(情2A) 第2位  
女子800m 石本 真歩(普2B) インターハイ出場 第6位  
インターハイ出場
- 柔道部  
平成30年度九州ジュニア柔道体重別選手権長崎県大会  
男子55kg級 平田 崇(普2B) 第3位  
女子44kg級 栗山 瑛(龍1A) 優勝  
女子48kg級 金子 ななみ(普2C) 第3位

## 情報ビジネス科2年生・企業見学会

7月11日(水)情報ビジネス科の2年生は、A組とB組に分かれ、県内のホテルや福祉施設をそれぞれ3箇所ずつ見学しました。これは情報ビジネス科では初の試みです。見学先では仕事内容の紹介や施設見学など丁寧な対応をしていただき、生徒は大変興味深そうでした。見学後「勉強になった」「自分がつきたいと思う仕事が増えた」「今後の就職に向けての参考になった」「またこのような見学に行きたい」などの感想が上がり、非常に有意義な体験となったようです。2年生にとっては進路選択まで残り約1年です。将来の職業について真剣に考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。

7月11日(水)情報ビジネス科の2年生は、A組とB組に分かれ、県内のホテルや福祉施設



## メディア安全教育

7月12日(木)メディア安全教育が実施され、長崎県メディア安全指導員の江副信一郎先生より、生徒達が日常使用しているスマホやタブレットの使い方についてご指導いただきました。TwitterやLINE、Instagramは便利な一方、軽率につぶやいたり画像を載せたりすると重大なトラブルに巻き込まれる危険があります。生徒達は一度ネットに流れた情報を完全に消すのは難しいこと、場合によっては犯罪行為になり得ることなどを学びました。また、未成年の高校生としては「保護者に見せられない使い方は無責任」だという印象的な言葉もありました。スマホの長時間使用は脳に悪影響があり、学習できない脳になるという調査結果があるそうです。スマホ持ち込みで指導を受けた生徒の話では、いつも気が付いたら手にしているとのこと。意識的に時間制限を設けるなどの対策が必要かもしれません。スマホの使い方について、ご家庭でも一度話し合っただけいただければと思います。

